

## NPO法人つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和元年度）

10	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	12月	21	土曜	8:30	13:00	東市民センター	11名
<b>活動名称</b>	門松教室					報告者：吉井	

＜主な活動内容＞

イベント活動の場合の参加者数（114人）

8:30 スタッフ集合準備開始

- 5 多目的ホールにブルーシートを敷き詰め、10個のテーブルを配置した。  
各テーブルに4組の親子が集まり、門松作りを行なう計画である。  
12/7竹切り作業で斜め切りを行った竹材を市民の森から運んだ。

9:00 受付開始

予約していた参加者が続々来場、当日キャンセルもあって、41組が参加となった。

- 10 イベント開始前30分で東市民センター用サンプル作成

9:30 イベント開始 イベント開始の挨拶後、竹林に移動し竹林整備の説明を行った。

イベントの目的の一つが竹林を含む市民の森整備についての理解を深めることである。

9:50 門松づくり説明

昨年から鶴ヶ島市の燃えるゴミ規定が変更されたため、40cmの高さの門松作りを説明  
松、南天、梅は、竹を縛ってから取りにくるよう徹底して、作業場の散らかりを防いだ。

- 15

10:00 門松作り開始

今年は、竹を自分で切る参加者が多く、外で電動鋸を用意していたが、余裕があった。  
いつものことであるが、一生懸命竹を切る子供達を見ていると、このイベントを開催して  
良かったと思える。

- 20

11:30 門松仕上げ 門松の形を整えたり、紙飾りを追加して門松を仕上げた

12:00 門松鑑賞会 各々が作った門松を床に飾り、みんなで鑑賞会を行った。

感想を聞くと、竹切りに苦労したことと、飾りつけが楽しかったの意見多し。

12:15 イベント終了 参加者・スタッフ全員で後片付け

- 25

次回検討事項 事前予約名簿にない方3組来場、予約したと言い張るため、仕方なく認めた。

受付の列が長く、もめてる場合じゃない。毎年数組いるが、どうしようもない。スタッフ分に対応。

2組、松・南天を多く持って行った家族があり、回収した。親と子が別々に取りに来るとわからない  
松を切らずに指す家族が多く、違和感あり。世の中の門松は90%以上竹の方が長い。

- 30

シュロ縄が足りず、参加者ともめた。マニュアルにシュロ縄を使うように書いてあるのに、足りないのは主  
催者の怠慢とのこと。 どうしてこだわるのか私は理解不能。マニュアルに無駄なことを書かなければOK  
孟宗竹の門松は藁縄が主流。ミニサイズは、縛れないためシュロ縄。イベントで作るのはスモールサイズ。

協力団体：広域おやこ劇場ひき北いるま、杉下域支え合い協議会

＜里山参加会員＞

- 35

佐野、小沼、吉井、松井、小澤、石川、風祭、橋本、室、柳川、佐野和

＜活動写真＞

